

# 九州 I T & I T S 利活用推進協議会 (**Q P I T S**) の活動報告

*QPITS* / *P*practice group of *ITS* in *Kyushu*

平成 2 8 年 7 月 2 1 日

Q P I T S

# QPITS組織運営体制

- 産学官民連携による、自律中立的な体制にて、“実践”を重視して活動を展開

## 役員

会長	浦 正勝
副会長	福田 晃 辰巳 浩
理事長	浦 正勝
幹事長	芦原 秀一
会計監事	松尾 正博

理事会

幹事会

## 事務局

事務局長	松尾 真悟
事務局次長	馬場 伸一 高原 茂樹 大場 典常
運営サポート	小寺 千登勢

連携促進  
・  
活動推進

＜賛助会員＞ 5名

## 会員

### ＜幹事会員＞ 9名



### ＜正会員＞ 18名



### ＜特別幹事会員/特別正会員＞ 26名



# QPITS 基本方針活動コンセプト

- 高度に複雑化した社会にイノベーションを起こすため、QPITSはITの観点から研究だけでなく、“利活用推進”へ

2013(平成25).7～

九州IT&ITS  
利活用推進協議会  
(QPITS)  
+  
株式会社UDF  
(UDF,inc.)

2011.10～  
平成23年

九州ITS  
利活用研究会

2つのイノベーションを  
実社会に

ビジネス

ビッグデータを活用し、  
社会生活に貢献するビジネス/サービスの創発



テクノロジー

ビッグデータを収集し、分析し、活用するための  
実用レベルでのテクノロジーを創発想

# 2016年（平成28年）度 主な活動実績

# QPITS2016年（平成28年）度活動実績 1

## 1. ITS系⇒自治体（県、市、その他）及び関連組織との取り組み強化

- ・自動車ITSビジネス研究会開催 2回（8月30日、12月15日）
- ・北部九州自動車産業アジア推進拠点会議との連携（総会@小倉5月19日ITSAP紹介）

## 2. セミナー&人材育成⇒自己啓発、技術系

H28/6/1～2 CloudDays九州2016（福岡国際会議場）

展示物：2コマのブースを確保し、QPITS会員企業3社にて出展。

出展企業：①. マイクロコート、②. コア九州カンパニー ③. 西鉄情報システム

## 3. ビジネスマッチング（会社、テクノロジー、人材、知財、など）

- ・QPITS会員のモチベーション&メリットとして、継続的かつ効果的な形で実施を推進

## 4. ITSAP(アジア太平洋地域 ITSフォーラム)2018への取り組み

ITSAP2018の誘致に関して日本代表として福岡が決定。

QPITSは関連部門と連携しつつ、地域活性化、産業活性化のための大きなミッションとし、日本（福岡）招致委員会開催 3回推進しました。

（キックオフ6月22日、日本代表報告9月5日、採択報告会12月1日）

- ・5月17日：ITS-Japan総会（日本代表プレゼンテーション）
- ・10月9日メルボルンにて票決⇒2018年5月8,9,10日開催決定

## 5. 情報共有

- ・ 外部向け（SNS、ML 等による情報発信とホームページの活用推進）
- ・ 会員向け（サイボウズによる情報発信、共有の活性化）

## 6. 各団体との連携

- ・ ITS Japan
- ・ 北部九州自動車産業アジア推進拠点会議
- ・ 自動車ITSビジネス研究会
- ・ 第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム福岡 招致委員会
- ・ NPO法人QUEST（九州組込みソフトウェアコンソーシアム）

- ◆ I T S に新規に取り組む企業の参入と一層の活性化を目指し、業界団体による I T S（高度道路交通システム）の最新動向や、企業によるビジネスモデルの紹介を行い、新ビジネス創出を図る。

- ◆主催:北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議  
九州IT & ITS利活用推進協議会。

## ○第1回 自動車ITSビジネス研究会 H28年8月30日

- (1) 「日産の高度運転支援と自動走行システム開発の取り組み」
- (2) 「S I P 自動走行システム研究開発の取組状況」
- (3) 「地元企業等の取組みの発表」
  - ・「アイシン精機の安心安全-運転支援システム開発のご紹介」
  - ・「伊都キャンパスを基点とした公共交通機関乗換案内」
  - ・「I o T を用いた交通系サービス事例のご紹介」

## ○第2回 自動車ITSビジネス研究会 H28年12月15日

- (1) 「政府全体のITS・自動走行の戦略  
～『官民ITS構想・ロードマップ（2016）』を中心に～」
- (2) 「モビリティIoT～グローバル化・協業の推進～」
- (3) 「地元企業等の取組みの発表」
  - ・「交通ビッグデータを活用したインバウンド対策について」
  - ・「『カタリベクラウド』プラットフォームの紹介とITS利活用」

◆2018年5月開催招致活動

福岡での開催決定



**ITS AP Forum  
FUKUOKA**

May 8-10, 2018



# 開催テーマ: Everyone's Mobility by ITS

ITSが支えるモビリティ社会の実現

## 【開催期間】

2018年5月8日～10日

## 【開催会場】

福岡国際会議場

## 【開催規模】

会議登録 : 1,000名以上

展示会参加者 : 3,000名以上

出展ブース : 70ブース

## 【会議内容】

- ① プレナリーセッション : 公共交通、自動運転等の基調講演
- ② エグゼクティブセッション : アジア各国の政策、取組みを講演
- ③ スペシャルセッション : オープンデータ、次世代公共交通、自動運転、次世代通信、三次元地図、
- ④ テクニカルセッション : グローバルコネクテッド等の技術論文、技術成果発表

## 【展示・企画】

- ① 展示会, 社会実装体験, テクニカルツアー
- ② 九州・沖縄9高専と海外の学生の協力・参加によるアイデアソン : 人材育成

## 【サブテーマ】

- ① 安全安心な社会の実現
- ② スマートな移動の支援
- ③ 次世代モビリティ技術
- ④ ITSインフラ技術の実用化
- ⑤ 人材育成・教育



# 2017年（平成29年）度 主な活動予定

## 1. ITS系 自治体（県、市、その他）及び関連組織との取り組み強化

- ・自動運転ビジネス研究会との連携（7月21日、12月 の2回セミナー実施）
- ・北部九州自動車産業アジア推進拠点会議との連携
- ・第12回日本モビリティ・マネジメント会議（7月28日、29日@アクロス）

## 2. セミナー&人材育成

技術系イベント及び講演会を複数回開催予定

ビジネスマッチング（会社、テクノロジー、人材、知財、など）

## 3. ITSAP(アジア太平洋地域 ITSフォーラム)2018への取り組み

- ・2017年2月6日第1回実行委員会開催、第2回5月31日開催。

第3回は9月実施予定

- ・2018年5月8日～10日に福岡国際会議場他にて開催にむけて

QPITSは関連部門と連携しつつ、地域活性化、産業活性化のための  
ミッションとし、推進いたします。

○QPITS会員共同展示ブースの確保（会員企業展示、費用廉価に）

2、3ブース確保予定

○福岡市IoTコンソーシアム（FITCO）との連携、Mobility関係WG。

#### 4.情報共有

- ・外部向け（SNS、ML 等による情報発信とホームページの活用推進）
- ・会員向け（サイボウズによる情報発信、共有の活性化）

#### 5.各団体との連携

- ・ITS Japan
- ・北部九州自動車産業アジア推進拠点会議
- ・自動運転ビジネス研究会
- ・第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム福岡 実行委員会
- ・NPO QUEST
- ・FITCO（福岡市IoTコンソーシアム）

#### 6. その他 実証実験系予定

- ・福岡市実証実験サポートの活用支援。
- ・LoRa(R) Network実証環境

## 福岡市 実証実験 フルサポート事業

福岡市では、2017年7月末よりIoT向け通信ネットワーク(Fukuoka City LoRaWAN™)の実証環境を提供開始する予定です。

そこで今年度は、Fukuoka City LoRaWAN™やAIなど最先端技術を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募します。審査で選定されたプロジェクトは、福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)が福岡市内での実証実験を全面的にサポートします。

### 「募集プロジェクト」

ITやIoTのテクノロジー(LoRa Networkなど)を活用することで、防災・減災や健康福祉などの分野をはじめとする社会課題の解決などに繋がる実証実験プロジェクト。

### 「サポート内容」



#### ①実証実験の場

Fukuoka City LoRaWAN™の無償利用、市内の公共施設・FDC会員企業が有する施設などの実証実験フィールドの斡旋、地元調整、モニター募集



#### ②PRの場

公開実証実験、市の関連イベントへの参加など、PRのための場の提供(ベンチャーキャピタルや地場企業等とのマッチング機会も提供)



#### ③規制緩和

国家戦略特区を活用した規制緩和の検討  
(規制緩和を伴う実証実験が対象)



#### ④助成金

実証実験にかかる費用の助成 ※上限20万円  
福岡市までの旅費、安全対策費(保険料、警備員の人工費)、モニターなどへの謝礼、申請・審査手数料、LoRa®対応デバイス購入費

NTT西日本が提供するLPWAネットワークとパートナーが所有する各種IoTデバイス・センサー等を組み合わせることで、多彩な分野におけるIoT活用シーンの創出を目指します。

